

## 役員会報告

令和四年十一月役員会  
十一月十九日(金) 福島町会館

### 町内会長

コロナ感染拡大の第八波に向かってきつつあります。コロナにかからないように気を引き締めて十分に気をつけてください。また公民館の復旧が遅れています。指定されるよう方向性が決まっています。まだしばらく時間がかかりそうです。



### 土木委員会

公民館の玄関前スロープが破損していたものを十月半ばに補修しました。

第三道路の通学路横断歩道白線が消えかけている。児童の集場所となっているので白線の塗りなおしを能美市、能見署へ要望してほしい。

### 福祉厚生委員会

十月三十日にび時物故者法要を終了しました。今後地域福祉委員会を開催しなければなりません。

### 防災委員会

消防協力隊を今年いっぱい解散とする。

### 広報委員会

メールにて担当者に周知済み

### 神社係

### 別掲参照

### 議会報告

十二月は六、七日 本会議(最終日)は十六日  
● その他  
● コミュニティ・バスのルート見直し予定  
● 公民館の水道修理完了。普通に使えます。  
● 来年の福島町総会は公民館の復旧状況とコロナの状況により未だ未定

## 合掌地蔵の石碑修復にあたって

合掌地蔵の横にある石碑が以前から傾いていました。十月に修復が完了しました。これに伴い以前より第十班の秋常外志樹氏から頂いた『合掌地蔵の事』の資料についてこの度掲載いたします。



## 合掌地蔵の事

秋常外志樹

以前より福島町だより合掌地蔵のことが書かれているが、昔から此所に安置されていて、福島町にゆかりのあるお地蔵さんで、今の福島町を築かれた先人に感謝しよう。と記されていた。そこで私はどのような謂れでこのお地蔵様が建立されたか、その謂れを後世の人たちに当時の発起人として書き残しておきたいと思う。

そもそもこのお地蔵様の前の道路の土地は昭和四十四年まで福島と吉原町の共同の火葬場のあった所で、平成元年にこの前の道路、すなわち根上国道線が開通した。その時、この火葬場の土地が、車等に踏まれる事を憂い、この火葬場で葬られた数多の人達の御霊を安かれと供養し、また、この道路を通行する人や車両の安全を祈願して、松井邦彦氏はじめ多くの方々の御寄付によって、清水石材所の施工により建てられたもので、毎年春と秋の彼岸に福島町内会によって彼岸会が執り行われているのである。

### 発起人

明福 純清  
秋常 外志樹

### 寄付

松井 邦彦  
高塚 茂雄  
新本 巖

## 日吉神社より

### 境内清掃のお礼

十一月十三日(日) 西部地区(十三班)十七班の皆様が境内掃除をして頂きました。誠に有難うございました。

### 師走の大祓い

十二月二十二日(木) 午後六時より「師走大祓式」を執り行います。

各家庭で名前を書き、息を吹きかけ罪や穢れを封じ込めた「人形」を集めて神社に納め、安宅住吉神社宮司により、お祓いを行います。

後日、班長さんが各家庭に「人形」を配布いたしますので、御家族全員の名前を書き班長さんにお祓い料と一緒に御渡してください。

お祓い料は五百円です。

### 天照大御神の「お神札」について

新しい年を迎えるにあたり、御家庭に天照大御神の「お神札」をお祀りしましょう。

後日、班長さんが各家庭に天照大御神の「お神札」を持って伺います。

一体千円です。

### 令和五年度「厄年」について

《来年の事でちょっと早いです》

日吉神社では毎年過去の資料から分かる範囲で案内を出しておりますが、すべての方を把握できません。ご家族の方で該当される人、該当者の方で同級の方や、近所の方で同年の人がいたら情報共有をお願いします。

十九厄(女性の方)

平成十七年四月〜平成十八年三月生

五五賀(男性の方)

平成十二年四月〜平成十三年三月生

初老(男性の方)

昭和五十八年四月〜昭和五十九年三月生

還暦(男性の方)

昭和三十八年四月〜昭和三十九年三月生

厄年は通常数え年で行いますが、近年は満年齢で行う人もいます。日吉神社では昔から学年別でお詣りをしています。

## シニアライフを楽しみましょう

### 百寿会

■第六四五回「根上講」in百寿会■  
今回は福島百寿会の当番となっております。

日時 令和四年十二月三日(土)

午前十時

場所 福島町会館

講師 能楽師 渡辺荀之助 師

演題 「伝統文化 加賀宝生について」

多年にわたり能楽一筋に研鑽を重ね、宝生流シテ方として数多くの舞台を務めるほか、後進の指導・育成に取り組みと共に、重要無形文化財(人間国宝)保持者として、「能楽保存継承に尽力するなど、石川県の能楽文化の振興発展に尽くされています。」

## 物故者追悼法要

十月三十日(日)、福島町会館にて執り行われました。関係者のみの参加とさせていただきます。今年も戦没者の追悼法要は実施いたしませんでした。左記が物故者の皆様です。改めてご冥福をお祈り申し上げます。\*敬称略



清水守 (十二班東)  
新保修 (十四班)  
加藤星憲 (十五班)  
中西美智子 (一班東)  
山本菊枝 (四班)  
沖田榮子 (十一班)  
常楽健二 (二十六班)  
下出嘉代子 (二十八班)  
川畑麒八郎 (二十一班)

東つね (十三班)  
村上恵美子 (四班)  
浦田義弘 (二十二班)  
岡田久子 (七班東)  
池田啓 (七班東)  
兼田正雄 (二十九班)  
吉田實 (三十三班)  
福田と志子 (五班)

## 広報委員リレー見聞録

### 駅弁と立ち食いそばのお話

僕は俗に申す「鉄道ファン」ではありませんが、ひとりでの移動の時は電車を利用します。毎日の通勤も、能美根上駅からJRを利用しています。

流れゆく車窓の風景を眺めながら食す駅弁と、駅でいただく立ち食いそば、そしてそこには、昼夜を問わず必ず、三本ほどの缶ビールが介在するわけでありませぬ。

ここ一〜二か月の間に、所用で出掛ける事が割とありまして、その一端を時系列で左記にご紹介致します。

●写真右上。この緑色の物体がのるそばは、何だかお分かりでしょうか? 「春菊のかき揚げそば」です。かき揚げをかじった時の、鼻に抜ける春菊の香りがたまりませぬ。JR熱海駅(在来線)でのひと時。

●写真右下。JR東京駅で買った「深川めし」です。あさりの煮つけが、炊き込みご飯の上に、所狭しと、のる逸品です。北陸新幹線の中で一杯。

●写真左上。ご当地ものです。JR加賀温泉駅から名古屋屋へ向かう時。左から力二飯・能登牛飯・のどぐる飯と並びませぬ。JR特急しらさぎにゆられて一杯。

●写真左下。溺愛するJR名古屋駅ホームでいただく「かき揚げきしめん」。注文してかき揚げを揚げなおしてくれるのがミソ。たしか全てのホームに店がありますが、JR在来線の1〜2番線が空いていておすすめで

す。車も便利ですが、電車でのほろ酔いの旅はこたえられませぬ。それでは皆様お元気で。

二十三班 渡辺正幸



## のみ活倶楽部

現在、福島町会館では、健康教室を実施出来ません。当分の間中止と致します。福島町会館復旧後の再開時には、ご連絡申し上げます。

## 公民館清掃

当分の間中止と致します。

再開時は、その時の直近の当番班の皆様の担当となります。再開のお知らせは、防災無線や福島町だよりにて、ご連絡申し上げます。よろしくお願ひ申し上げます。

## リサイクルの日当番

十二月十七日(土) 第三・四・五班 班長の皆様

●午前七時半より一時間

●福島町会館・保育園駐車場

欠席される場合は、必ず交代要員を出して下さい。

